設定資料

世界観設定

プレイヤーの世界で語られるギリシャ神話、、、とよく似た世界線　人々の間で時の神クロノスと農耕の神クロノスが混同されたため生まれた可能性の世界。  
  
天空の神が時の神を下した際、時の神を殺すという行為に世界が耐え切れず、時の理の崩壊した土地、【大穴】が生まれる。

【大穴】について

【時壊】と呼ばれる現象に覆われる異界の地、鍛冶の神が作り上げた【陽時計】により異変は鎮められているが、時の神の死体を中心にその範囲は広がり続けている。

――――――――――――その空間は尋常の観測を受け付けず、凡夫の目にはただ何もない虚空が映るだけ、故に【大穴】。その空間は、備えなくては生存すらままならない。

【時壊】

時の理が壊れる現象を指す。この現象に見舞われた地は、過去と未来が偏在し、その狭間に現在が揺蕩う異空と化す。時が乱れるということは空間が乱れることとほぼ同義であり、空間と時間に頼らずに自己を定義できるものでなければ即座に消滅する。狭間に揺蕩う現在に乗ることができれば消滅は免れるが、その現在が在り続ける保証はない。

【時壊】を鎮めるには現在を定義し続ける必要があり、その目的で世界で初めて【時計】が作られたほどの脅威である。

【陽時計】

太陽の動きをもとに時間を定めることで【大穴】の時間の乱れを封じ込める神像物であり、太陽の神の協力のもと鍛冶の神によって作り上げられた世界初の時計。

乱れた時を利用し、日中の時の定義とともに日没後の時の定義を同時に済ませる荒業を可能にする鍛冶の神渾身の作品。

【陽時計】の破損

陽時計はその性質上 昼と夜の時間が同じでなくてはならず、しかし太陽の神の仕事が鍛冶の神の想定ほど正確でなかったために、昼と夜の時間の差分、さらに言うと夜が昼より長かった分だけ時の乱れが発生、小さな時の乱れによる損傷が蓄積していく事態に。

【整備士】

有事の際に備え【陽時計】の設置された神殿内に常駐する名工、ヘパイストスより【陽時計】の設計図が渡されている。

【時計塔計画】

【整備士】の任についたダイダロスが命名した神殿の改装計画。完成予定図が塔のような見た目だったためにこの名前になった。

【時計】

【時計塔計画】の副産物として生産された物品、個人用の【陽時計】として作用する予定であったが、時そのものではなく時の流れを定義するものになってしまった。　イカロスはこれを使い、時の加速と巻き戻しを行うようになる。

【陽時計】の異変

日中の効力が日没後にも続くように設計されており、本来であれば何事もなく正常に動き続けるはずの物であったが、それは太陽の神が鍛冶の神の作品のように、常に正しく仕事を成せばの話。太陽の神の息子が起こした事故により【陽時計】の正常駆動に失敗、【大穴】の異変が解き放たれることに。

ダイダロスの変死

【陽時計】の破損により限定的に解放された【時壊】により死亡、時の巻き戻りによる若返り、加速による老化、それぞれの重篤化である幼児化や腐敗、果ては時間軸のずれによる裂傷、断裂、存在の混在による異形化が体の様座穴部位に独立して発生、当然のごとく彼は死亡。

イカロスの生存

【陽時計】の破損時、【時計塔計画】の副産物として生産された【時計】を所持したままだったために【時壊】の影響から逃れる。

異変後の時計塔内部

破損により【陽時計】が暴走、以降、事件当日の時間定義を繰り返すように。

大昔に迷い込んだ森の精の因子が所々に見受けられるようになった。

―――――――事件と同時刻になると【時壊】再び解き放たれることになる。流石の【陽時計】も3回目は耐えられないだろう・・・

【世界の流れ】

天空の神が時の神を降す。

↓

時の神の死亡により【時壊】発生。範囲の拡大が遅かったため発見が遅れる。

↓

【時壊】空間に自然の精 何柱かが何らかの原因で侵入、周囲一帯の自然が荒廃したため自体が発覚。調査に向かった伝令の神によって【時壊】空間は【大穴】と呼称されることになった。

↓

天空の神の名を受けて鍛冶の神が、太陽の神をはじめ何柱かの神々の協力のもと【陽時計】と、それを設置する神殿を作成。以降、有事の際に備え優れた名工を整備士として配置することに決定。

↓

/魑・？代目の整備士にダイダロスが指名される。

↓

ダイダロスは幼い息子を伴って【陽時計】の整備士に就任。

↓

3年後、【陽時計】の損傷が顕在化、折り悪く鍛冶の神が多忙のため（妻の浮気）、ダイダロスに事態の収拾が命じられる。

↓

ダイダロスは【陽時計】の修繕/改装のため神殿を魔改造、その形状が塔のようなものであったことから修繕計画を【時計塔計画】と命名。

↓

【時計塔計画】の進行中、太陽の神の息子、パエトーンの引き起こした事故によって【陽時計】の正常駆動に失敗、結果として【陽時計】、【時計塔】の破損が発生、同時にダイダロスが変死を遂げる。

ダイダロスについて

正史

**ダイダロス**（[古希](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%A4%E4%BB%A3%E3%82%AE%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%82%A2%E8%AA%9E): **Δαίδαλος**, *Daidalos*, [ラテン語](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A9%E3%83%86%E3%83%B3%E8%AA%9E): Daedalus,「聡明な働き手」の意）は、[ギリシア神話](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AE%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%82%A2%E7%A5%9E%E8%A9%B1)に登場する有名な[大工](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E5%B7%A5)、工匠、職人、[発明家](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%99%BA%E6%98%8E%E5%AE%B6)である。名前は「巧みな工人」を意味する。[斧](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%96%A7)、[錘](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%8C%98)、[水準器](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B0%B4%E6%BA%96%E5%99%A8)、神像などを発明したとされる。メーティオーンの子エウパラモスとアルキッペーの息子、[ペルディクス](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=%E3%83%9A%E3%83%AB%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%AF%E3%82%B9&action=edit&redlink=1)の兄弟[[1]](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%80%E3%82%A4%E3%83%80%E3%83%AD%E3%82%B9#cite_note-1)。[クレータ島](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AF%E3%83%AC%E3%82%BF%E5%B3%B6)の王[ミーノース](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9F%E3%83%BC%E3%83%8E%E3%83%BC%E3%82%B9)の女奴隷ナウクラテーとの間に[イーカロス](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A4%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%83%AD%E3%82%B9)をもうけた[[2]](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%80%E3%82%A4%E3%83%80%E3%83%AD%E3%82%B9#cite_note-2)。

ゲーム内設定

正史から外れた世界戦のダイダロス。齢６０を超えて尚名工としての腕は研ぎ澄まされている。

名工としての業績が認められ、鍛冶の神の命を受け【整備士】に就任、【時計塔計画】を考案し【陽時計】と神殿の魔改造を始める。

ゲーム開始時に死亡。

イカロス

主人公、【時計塔計画】の副産物である【時計】を持っていために生存。

ダイダロスの手伝いをしていたが、【時計塔計画】を詳しく知らされているわけではなく、主にレンガの製造や床の舗装など、建築的な部分を担当していたため謎解きに関しては何も知らない。女の子